

Culture of 鷹巢

第2号

みのうらだいこ 蓑浦太鼓について

蓑浦太鼓とは、鷹巢地区蓑町の秋祭りで約45年間行われている太鼓演奏です。

○蓑浦太鼓の歴史

蓑浦太鼓は、昭和52年に初めて秋祭りで演奏されました。蓑浦太鼓が始まる前の秋祭りは、午前中に終わってしまい蓑町の住人たちの「午前中に終わってしまうのは寂しい」という思いから、午後も何かしようということに決まりました。様々な案の中、「祭りといったら、笛や太鼓が盛り上がっていい」という意見に賛成の声が多く集まりました。話し合いの結果、太鼓に決まりましたがどのように創り上げるのかという問題に直面しました。

そこで、太鼓を受け継いでいる福井市内の森田地区へ学びに行くことになりました。

最初は、5、6人から始まり、太鼓を習い始めて1年後に秋祭りで演奏されたそうです。初演奏の際は、秋祭りにきていた方々の拍手喝采でたいへん盛り上がったそうです。初めての披露にもかかわらず、好評だったため毎年やろうということに決まりました。今となっては、蓑浦太鼓を100年間続けようという目標もあります。

2023年は10月8日に蓑町で秋祭りが行われました。筆者は蓑町出身なのですが、3年ぶりに小学生から大人まで幅広い層の太鼓演奏を聞くことができました。

(Q & A)

Q 菘浦太鼓を演奏するときに参考にした地域や方法はあるか？

A 福井市森田地区の講師に教わった。

昔からの打ち方を参考にした。

Q 演奏する曲の作り方と菘浦太鼓ならではの特徴は？

A 1曲は講師から教わった曲で、2曲目は拍子が決まって

いたので菘町の人たちと協力して作った。菘浦太鼓の特徴

は、現在と過去の太鼓の打ち方を合わせているところ。



夏祭りについて

今年の夏祭りは4年ぶりに行われ、多くの人でにぎわっていました。

屋台は少し少なくなりましたが、久しぶりの夏祭りだったので皆さんはりきっていました。

やきとりやかき氷、ポップコーンに綿あめなどがありました。どれもおいしかったです！

夏祭りの幕開けには、カラオケ大会が行われていました。一部の人たちからは人気がありました。

その後、菘浦太鼓がありました。迫力があり、すごく感動しました。

いよいよ終盤になってきたころ、打ち上げ花火が上がりました。今年の花火はとても本格的で、

越前の方からプロの方が来てくださり、とてもきれいな花火がみることができました。

これからも鷹巣の伝統を受け継いでいきたいし、自分たちも学んでいきたいと思いました。